

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 財務部 部長

(氏名) 荒木 幹治

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,729	0.8	430	211.0	554	217.6	338	—
21年3月期第1四半期	8,660	—	138	—	174	—	△70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	16.51	—
21年3月期第1四半期	△3.38	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	38,200	27,013	69.0	1,291.60
21年3月期	34,507	26,760	75.7	1,266.84

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 26,354百万円 21年3月期 26,106百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	18,000	0.6	700	50.2	700	26.6	350	80.4	17.15
連結累計期間	36,000	1.7	1,500	28.2	1,500	64.3	750	212.5	36.76

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 23,513,701株 | 21年3月期      | 23,513,701株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | 3,109,458株  | 21年3月期      | 2,905,899株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 20,524,779株 | 21年3月期第1四半期 | 21,018,483株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府から景気底打ちが宣言され一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用悪化には歯止めがかかっていないなど、依然として予断を許さない状況となりました。

食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりから、買い控えや低価格品へのシフトといった節約志向が顕著になったことに加え、昨年来の原材料価格の変動は、今期に入っても落ち着きを見せておらず厳しい事業環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは対処すべき課題として、①市場変化への対応、②販売の強化（グローバル化）、③品質管理体制の維持・強化、④環境への取り組み、⑤人材育成、⑥業務改善による全体最適化を掲げ、企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は87億29百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

経常利益は5億54百万円（前年同四半期比217.6%増）、四半期純利益は3億38百万円（前年同四半期は四半期純損失70百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業の部門別の状況は次のとおりであります。

## ① ニュートリション事業部門

緑茶抽出物は、国内市場で飲料用途の拡大があったものの、サプリメントなどの健康食品用途が低調に推移いたしました。

機能性アミノ酸（テアニン）は、米国における飲料用途への採用から売上高は増加いたしました。

水溶性食物繊維は、医療食、健康食品用途で国内市場、海外市場とも堅調に推移いたしました。

ミネラル素材は、国内市場で乳製品用途が堅調に推移いたしました。また、コエンザイムQ10補給剤は、飲料用途等に好調な動きとなりました。

この結果、売上高は13億67百万円と前年同四半期比10.1%の増加となりました。

## ② インターフェイスソリューション事業部門

乳化剤は、酒類・飲料用途の乳化・可溶化製剤がやや低調な動きとなりましたが、クレンジング用途を主とする化粧品・トイレタリー用乳化剤、飲料用途の乳化安定剤製剤及び乳化食品が好調に推移いたしました。また、一般食品用途の乳化剤も堅調に推移いたしました。

安定剤は、冷菓用途がやや低調な動きとなりましたが、デザート用途及び飲料用途が好調に推移いたしました。また、惣菜用途、高齢者食品用途の需要も好調に推移いたしました。

この結果、売上高は31億96百万円と前年同四半期比9.3%の増加となりました。

## ③ アグリフード事業部門

鶏卵加工品は、粉末卵は堅調に推移したものの、液卵加工品が低調となり、売上高は減少いたしました。

フルーツ加工品は、ヨーグルト用途が低調な動きとなりましたが、アイスクリーム用途が好調に推移し、売上高は大幅に増加いたしました。

さつまいも加工品は、主力分野の製パン用途で販売が伸びず、売上高は減少いたしました。

蛋白加工品は、海外向けの販売が振るわず売上高は減少いたしました。

即席食品用素材は、末端商品の値上げに伴う売上低迷も一段落し、新製品への採用などもあり売上高は増加いたしました。

凍結濃縮製品は、事業縮小による一部製品終売により、売上は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は41億37百万円と前年同四半期比7.4%の減少となりました。

④ その他部門

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は28百万円と前年同四半期比19.8%の増加となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して36億93百万円増加して、382億円となりました。

主な資産の変動は現金及び預金の増加29億53百万円、受取手形及び売掛金の増加4億44百万円、投資有価証券の増加1億61百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して34億39百万円増加して111億87百万円となりました。

主な負債の変動は支払手形及び買掛金の増加5億10百万円、短期借入金の増加29億37百万円です。

また、純資産は前連結会計年度末に比較して2億53百万円増加して270億13百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.7%から69.0%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ19億72百万円増加し、37億4百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動により4億64百万円の資金を獲得しました。

その主な理由は、税金等調整前四半期純利益が5億50百万円、減価償却費計上による自己金融効果2億63百万円による資金の増加の他、仕入債務の増加4億43百万円等による資金の増加、売上債権の増加3億87百万円、法人税等の支払1億88百万円等による資金の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動により10億69百万円の資金の減少となりました。

その主な理由は、定期預金の預入による支出が10億6百万円となったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動により25億47百万円の資金を獲得しました。

その主な理由は、借入による資金の増加が29億82百万円、自己株式の取得による支出が1億47百万円、配当金の支払額が1億64百万円となったことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成21年5月11日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、平成21年4月20日付で、株式会社ジャンアヴィスジャポンは、株式会社タイヨーラボに社名変更をいたしました。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,728,359	1,775,285
受取手形及び売掛金	8,879,786	8,435,196
商品及び製品	3,659,943	3,593,726
仕掛品	520,639	501,770
原材料及び貯蔵品	2,728,758	2,663,500
その他	570,035	541,853
貸倒引当金	△88,014	△76,988
流動資産合計	20,999,507	17,434,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,878,349	5,902,596
土地	5,940,366	5,939,905
その他（純額）	2,911,122	2,925,506
有形固定資産合計	14,729,838	14,768,008
無形固定資産		
のれん	158,611	162,627
その他	413,258	396,245
無形固定資産合計	571,870	558,873
投資その他の資産		
投資有価証券	1,601,974	1,440,051
その他	325,527	333,465
貸倒引当金	△27,850	△27,325
投資その他の資産合計	1,899,651	1,746,191
固定資産合計	17,201,359	17,073,073
資産合計	38,200,867	34,507,417

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,294,211	3,784,189
短期借入金	4,418,257	1,480,796
未払法人税等	171,969	208,855
賞与引当金	90,487	214,143
その他	822,824	748,420
流動負債合計	9,797,749	6,436,406
固定負債		
長期借入金	349,318	356,110
退職給付引当金	496,793	490,208
役員退職慰労引当金	293,070	293,070
その他	250,095	171,233
固定負債合計	1,389,277	1,310,622
負債合計	11,187,027	7,747,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,729	7,918,729
利益剰余金	13,488,087	13,314,249
自己株式	△2,877,542	△2,730,090
株主資本合計	26,259,895	26,233,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	244,101	134,911
繰延ヘッジ損益	△93,144	△91,827
為替換算調整勘定	△56,634	△169,847
評価・換算差額等合計	94,323	△126,762
少数株主持分	659,621	653,640
純資産合計	27,013,840	26,760,388
負債純資産合計	38,200,867	34,507,417



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)
売上高	8,660,683	8,729,980
売上原価	7,174,399	6,932,532
売上総利益	1,486,283	1,797,448
販売費及び一般管理費	1,347,799	1,366,738
営業利益	138,483	430,710
営業外収益		
受取利息	13,943	7,181
受取配当金	34,712	16,030
持分法による投資利益	45,894	3,059
為替差益	—	100,409
助成金収入	33,573	14,262
その他	18,974	27,327
営業外収益合計	147,098	168,271
営業外費用		
支払利息	39,225	27,672
為替差損	49,313	—
その他	22,589	17,301
営業外費用合計	111,127	44,974
経常利益	174,454	554,007
特別利益		
前期損益修正益	9,772	—
その他	656	—
特別利益合計	10,428	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	920
投資有価証券評価損	—	1,638
たな卸資産評価損	142,361	—
その他	28,718	461
特別損失合計	171,080	3,021
税金等調整前四半期純利益	13,802	550,986
法人税等	87,127	187,970
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△2,349	24,241
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△70,975	338,774

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,802	550,986
減価償却費	256,002	263,400
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,765	9,471
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△140,165	△123,655
受取利息及び受取配当金	△48,655	△23,211
支払利息	39,225	27,672
為替差損益 (△は益)	72,125	△106,537
持分法による投資損益 (△は益)	△45,894	△3,059
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,638
売上債権の増減額 (△は増加)	△148,382	△387,019
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,234,891	△57,601
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,317,682	443,777
その他	85,565	62,939
小計	172,180	658,800
利息及び配当金の受取額	52,046	26,287
利息の支払額	△35,377	△32,580
法人税等の支払額	△176,509	△188,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,340	464,193
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△42,864	△1,006,032
定期預金の払戻による収入	83,961	25,100
有形固定資産の取得による支出	△71,361	△84,585
有形固定資産の売却による収入	2,256	—
投資有価証券の取得による支出	△3,785	△4,267
投資有価証券の売却による収入	500,000	—
その他	1,156	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	469,364	△1,069,785
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,546,900	2,982,140
短期借入金の返済による支出	△133,000	△82,140
長期借入金の返済による支出	△48,025	△12,806
自己株式の取得による支出	△12,830	△147,451
配当金の支払額	△168,291	△164,937
少数株主への配当金の支払額	—	△26,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,184,752	2,547,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68,370	29,695
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,598,087	1,972,093
現金及び現金同等物の期首残高	1,977,951	1,732,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,576,038	3,704,150

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)及び当第 1 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)

当社企業グループの事業は、「食品関連事業」並びにこれらの付帯業務の単一事業となっております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,117,099	166,156	446,724	8,729,980	—	8,729,980
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	105,192	436,329	—	541,521	(541,521)	—
計	8,222,291	602,486	446,724	9,271,502	(541,521)	8,729,980
営業利益	399,586	6,114	8,679	414,380	16,329	430,710

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
アジア …………… 韓国、中国、インド

## 【海外売上高】

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	317,307	365,837	225,772	908,917
II 連結売上高(千円)				8,660,683
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.7	4.2	2.6	10.5

(注) 1 国又は地域の区分方法

地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア：韓国、台湾、中国等

米 州：アメリカ、カナダ、ブラジル等

欧 州：ドイツ、スイス、イタリア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	331,157	446,724	228,862	1,006,744
II 連結売上高(千円)				8,729,980
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.8	5.1	2.6	11.5

(注) 1 国又は地域の区分方法

地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア：韓国、台湾、中国等

米 州：アメリカ、カナダ、ブラジル等

欧 州：ドイツ、スイス、イタリア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。